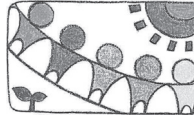


育成かながわ



◆発行責任者

神奈川県手をつなぐ育成会

会長 植松 みさこ

〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2

TEL:045-323-1106 FAX:045-324-0426

E-mail: ikanagawa_k@yahoo.co.jp

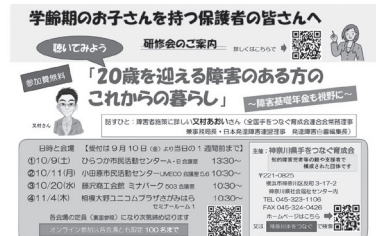
URL: https://ikusei-kanagawa.jp/

～特別支援学校保護者向け研修会～

「20歳を迎える障害のある方のこれからの暮らし」

学齢期のお子さんを持つ保護者の方を対象に、卒業後どのような福祉サービスを利用して、どのように一人の社会人として生活していくのか考える機会を持っていただけるよう研修会を開催しました。

10月9日・ひらつか市民活動センター、10月11日・小田原市民活動センター UMECO、10月20日・藤沢商工会議所ミナパーク、11月4日・ユニコムプラザさがみはらの4か所で開催しました。講師は又村あおい氏にお願いし、オンラインでも参加して頂けるように設定しました。コロナ禍の中でしたが多くの方に参加して頂いて開催することが出来ました。直接会場に参加した方、オンラインで参加された方に感想を伺いました。



* オンライン参加の方より

又村さんの研修会は今まで幾度と参加させていただいてありますが、今回はオンラインで参加しました。私自身の感覚では、講師の方と対面で受講する方がその時間を集中できると感じており、直接会場へ出向いて行くことを好みますが、自宅から会場へ向かう準備の省略、交通費の削減や時間の有効活用などのメリットがオンラインにはあると思います。そして、子供を預けたり外出することが難しい環境である方にとって、オンラインでの開催は参加のチャンスが増えると思いました。今後も会場+オンラインの形式が定着していけば、研修会の充実も図れると思いました。研修の内容については、来年度高等部に進学する娘を親としてどう導いていくのかどういった知識を親が蓄えておくべきかを学ぶことができました。今まで漠然と考えていた自分から卒業し、真剣に将来設計を考えていかなばと身の引き締まる機会となりました。

(平塚支部 櫻井 知子)



* 会場参加の方の感想 (一部抜粋)

- ・30歳の時の生活を目指すと言われたことに納得しました。
- ・どういう生き方、住まい方をするか考え、決めていきたい。
- ・又村さんのお人柄、口調により心に響きました。
- ・親なき後のお金の話、具体的な金額まで教えて下さり今後の見通しが持てました。

参加されたほとんどの方からは、とても参考になって良かった、また機会があれば参加して勉強したいとの感想を頂きました。会場とオンラインのハイブリッド形式での開催は参加しやすくて良かったと好評でした。次号で詳しい内容をお伝えします。



「育成かながわ」は、共同募金配分金により発行しています。

神奈川県に令和 4 年度予算要望書を提出

～ 県議会議員とのヒアリング ～

昨年度の要望内容や各支部の課題と通学支援アンケートなどを基に令和 4 年度予算編成における要望書を作成し、神奈川県へ提出しました。又、7 月・8 月に県議会議員の各会派実施のヒアリングにおいて私たちの 5 つの要望について理解を求めました。

昨年度要望の進捗状況を議員からお聞きしたり、日頃支部と課題を共有している地元選出の議員からお話を伺ったり、回を積み重ねる毎に有意義な時間となっていると感じます。各支部と課題を共有し共に声を上げることが私たち運動体としての大切な取り組みです。



1. インクルーシブ公園の整備に関する要望

障がいのあるなしに関わらず生まれた時からともに一緒に育ち遊ぶことで自然にお互いを理解できるようになる。私たちの声を反映させて市町村と連携し公園の種別・規模に応じた整備を進めてほしい。

2. インクルーシブ教育の充実についての要望

法律の課題である人員の確保に努めていただくとともに、医療的ケア児のみならず本人の意思を尊重し、障がいの重さで差別することなく希望する学校に通えるよう必要な支援をして、インクルーシブ教育を推進してほしい。

3. 一人一人の成長に伴った通学支援に関する要望

特別支援学校、地域の通常級・特別支援学級で通学に課題のある全ての児童生徒には個別支援計画の中で通学支援に取り組んでいただけるよう要望。またその支援が支援シートと同様に引き継がれてほしい。

4. 知的障がい者のグループホーム等の暮らしの整備と支援に関する要望

障がい者の重度化や高齢化を視野に入れた常時の支援体制が確保できる住まいの場が多くできることが、喫緊の課題。県域どこに暮らしていても本人らしい暮らしができるようになること。

「苦情解決制度」「第三者委員会設置」の仕組みを義務化するなどして、より高い質の確保にむけて積極的に働きかけ、その結果については、設置している市町村と相談事業所に情報提供を行ってほしい。グループホームや一人暮らしなどの自立した生活を望んでいても、神奈川県は家賃・生活費・人件費の負担が国水準を大きく上回っている。工賃の低い就労継続 B 型や生活介護などの福祉事業所に通う多くの知的障がい者は障害基礎年金・各種手当・工賃等を合わせても、経済的には生活ができない。暮らしの場の整備と併せて一人一人の生活状況を考慮した支援を国・市町村と連携して行うこと。

5. 新型コロナワクチン接種に伴う知的障がい者への配慮に関する要望

知的障がい児者向けに偏りのない丁寧な情報提供と、副反応、差別など多岐に亘り知的障がい児者、保護者、関係者からの相談に対応できる専門の職員、医師を配置した相談窓口を設置してほしい。

要望書は行政と育成会の大切な“コミュニケーションツール”

～『手をつなぐ』を参考に会員の声を集めました！～

鎌倉支部では毎年会報や総会などで会員のみなさんから要望を伺う機会を設けていますが、なかなかまとまった意見にはならず、要望書はしばらく提出しておりませんでした。今年度は全国手をつなぐ育成会連合会の機関紙『手をつなぐ』1月号に福祉政策に対する意見を項目別にまとめた記事があり、それを基に意見として募集したところ、多くの反応がありました。その中から最も要望が多かった「グループホーム家賃補助の増額」に的を絞り、要望書を作成することとなりました。鎌倉市は近隣の市町村より家賃補助が少なく、グループホームの家賃が比較的高い地域でもありますので、家族が面倒を見るのが難しくなった後に本人が少しでも自立した生活を送ることができるように家賃補助の増額は必要と考えました。市の障害福祉課には要望書作成の経緯と実状などを説明する時間を設けていただきました。家賃補助だけでなく、グループホーム自体も不足していることや、親なき後も住み慣れた地元での生活ができるように願っていることなどもお話ししました。

具体的な項目を挙げ、回答を選択制にしたことで、今まで以上に会員から意見や要望が集まり、まとめる際もスムーズにできました。また、日頃から福祉課などの行政側とコミュニケーションを取り、福祉の現状を会員に発信していくのも重要であると感じます。（鎌倉支部 中澤 香）

～アンケート調査から地域の声を一緒に届けました！～

二宮町は人口3万人弱の町で、会員は新しいメンバーも加わり、20人ほどで活動しています。令和3年7月に、二宮町に以下の4つの要望書を提出しました。

- ①福祉事業所の通所に伴う交通費全額補助 ②知的障がい者の地域生活の家賃補助 ③個別支援シートに通学支援の記載を望む ④インクルーシブ教育推進を望む

湘南西部ブロック（平塚、大磯、二宮）が中心となり、「通学で困っていること」のアンケート調査を昨年度実施し、小学校からずっと付き添いが必要、保護者やきょうだいが病気の時には付き添えず学校を休ませなければいけないなど通学に様々な困難を抱えた児童や保護者が多数いたことを要望に繋げました。二宮町教育委員会とは要望書を提出する際に意見交換の場を設けていただき、問題意識を共有できるよい機会となりました。また、「二宮高校（インクルーシブ推進校）の情報が少ない、得られていない。」ということを受け二宮高校、県・町教育委員会、二宮町の小中学校（5校）、育成会と懇談を行う予定です。関係者一同に集まり、意見交換の場を設け、育成会が架け橋になれるのは喜ばしいことです。

日々刻々と変わる法律や施策などの勉強会は要望書を作成する上で大いに役立ちます。要望を実現していくためには、私たちも勉強し続けることが大事だと思いました。（二宮支部 北山 弓子）

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です



特長1

**代理手続き
代理告知が
可能**

障がいのある方向けプラン

特長2

**告知対象
疾患の緩和**

障がいのある方向けプラン

特長3

**成年後見
費用を補償**

障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。
「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先（取扱代理店）に
資料請求をお待ちしております。

【お問い合わせ先取扱代理店】

・ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL: 03-6910-0850 FAX: 03-6910-0851
URL: <http://www.z-kyosai.com/>
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00～17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社
公務第一部東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00～17:00)

2020年6月作成
20-TC01440

私たちが求める「障害者支援施設の在り方」とは？

1. 「当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会」の途中経過

昨年度実施された「障害者支援施設における利用者目線の支援検討部会」の報告書の提言を受けて 6 月に設置されました。来年 3 月まで■障害者支援の長期的な将来展望の検討■当事者目線の障害福祉に係る理念や実践の検討■県立障害者支援施設の在り方の検討を行い、報告書をまとめます。委員は、当事者からは富田祐氏（ブルースカイクラブ）・小西勉氏（ピープルファースト横浜）・奈良崎真弓氏（にじいろでGO!）、民間福祉関係からは大川貴志氏（【社福】同愛会てらん広場）・河原雄一氏（【社福】星谷会）・林雅之氏（【社福】清話会三浦しらとり園）・福岡寿氏（日本相談支援専門員協会）、学識経験者からは蒲原基道委員長（日本社会事業大学専門職大学院）・大塚晃氏（日本発達障害ネットワーク）・佐藤彰一氏（國學院大學）、そして手をつなぐ育成会の野口（県心身障害児者父母の会連盟）の 11 名が参加しています。

第 1 回（7 月 9 日）は黒岩知事のあいさつで、やまゆり事件後の取り組みで意思決定支援や当事者目線の重要性に気づかされたこと、将来に向けての新しい改革に期待をしている等の話があり、その後検討の進め方の説明と昨年の報告書をふまえた意見交換をしました。第 2 回（8 月 6 日）は事例紹介として、大塚委員より「国立のぞみの園」の設立から地域移行までの報告と、佐藤委員より「千葉県袖ヶ浦市の県立児童入所施設」での事件から閉鎖決定までの経過の報告があり、その後の意見交換では当事者からの熱い問題提起がとても印象的でした。第 3 回（9 月 3 日）は県立支援施設の令和 5 年度からの指定管理についての説明と意見交換、事例紹介として福岡委員より長野県西駒郷の地域移行の報告があり、各委員の実践に基づいた意見交換がありました。皆さんに熱い討議の様子を是非見ていただきたいのですがコロナの為傍聴ができずライブ配信も難しいそうで、とても残念に思います。3 回までの議事録と資料は県ホームページに出ていますので、ご覧いただきご意見等ありましたら是非お教えくださいますようお願いいたします。（大磯支部 野口 富美子）

2. 「障害者支援施設調査票」をもとにした県とのヒアリング 報告

6 月、福祉子どもみらい局共生推進本部室より送られた障害者支援施設についての「調査票」依頼があり、5 支部からの回答を集約したものを送りました。その後 8 月初旬、福祉施策検討委員長の鈴木さんと 2 名でヒアリングに出席しました。「調査票」は前述の「当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会」に提出されるとのことでした。これからの県福祉施策に反映されるであろう「調査票」結果に、会員間で充分意見交換がなされなかったことを大変残念に思います。

また 12 月の研修会で大塚晃先生からご意見をお聞きしたいと思います。（会長 植松 みさご）

未来あんしんサポート		NEW 2020年7月より第一フロンティア生命の一時払タイプの生命保険の取り扱いを開始しました。	
「知的障がい」や「自閉症」等の障がいのあるお子さまのために 「親なきあと」 をサポートするご提案です		未来あんしんサポート®	
障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配…	この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。	残したお金をこの子が 使い切れない時のことも考えておきたい。	
「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を 確実に未来へのこします		お問合せや資料のご請求はこちらへ 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル 0120-580-503 通話料 無料 受付時間：月～金（祝日・年末年始を除く）9:00～17:00	
『未来あんしんサポート』は、(株)ジェイアイシーが ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた サービスの総称です。		[生命保険募集代理店・信託契約代理店] 株式会社ジェイアイシー 本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F ホームページ www.jicgroup.co.jp [所属信託会社] みずほ信託銀行株式会社 [生命保険引受保険会社] 第一フロンティア生命保険株式会社 または FWD富士生命保険株式会社 登録No.FWD-C3476-2006	
●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポート リーフレット」をご覧ください。●(株)ジェイアイシーは「個人情報保護方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、(株)ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2020年7月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。			

「にじいろで GO!」の本人たち 多いに語る

相模原事件を契機に神奈川県内の知的障害のある本人たちが集まり、本人活動グループ「にじいろで GO!」が 2016 年 11 月に発足。現在、本人 10 人が 7 人の支援者と共に毎月 1 回、勉強会やレクレーションの活動を行っています。7 月 31 日、県福祉子どもみらい局共生推進本部室の職員 3 人が本人たちにヒアリングを行いました。初めに全員そろって懇談形式の質疑応答を行い、その後個別の聞き取りをしました。本人たちは行政の人たちに直接声を届ける良い機会だと、とても張り切って活発に発言していました。当日、集まった意見として『だめ』『しない』など、否定的な言葉を使わないでほしい」「勝手に決めつけないで、ちゃんと私たちの話を聞いてほしい」「入所施設に診療所があって医者や看護師がいた方が便利かも」「お風呂はせめて 1 ～ 2 人で入りたい」などが挙がりました。 (にじいろで GO! 支援者 小林 博)



2020 年 11 月、黒岩県知事と



啓発活動 ～座間キャラバン隊～

育成会活動の 1 つの啓発活動として、座間キャラバン隊が様々な所で知的障害についてわかりやすく伝える活動を続けています。コロナ禍の中でも依頼を受けて講演を行いました。

9 月 16 日神奈川芸術文化財団主催 KAAT 舞台芸術講座 2021 「舞台芸術 × 障害者～舞台技術者がインクルーシブシアターを考える～」が行われました。私たちは第一部で発達・知的障害について説明する時間をいただきました。「とてもわかりやすかった」「非常に大切なことを教えてくださいました」という感想をいただきました。第二部では南部充央氏（日本障害者舞台芸術協働機構理事代表）はだれもが観たい舞台芸術を鑑賞できるようにするための取り組みを、中山夏織氏（シアタープランニングネットワーク / 桐朋学園芸術短期大学特任教授）は発達・知的障がい児者の必要に応じて配慮することで、家族で鑑賞することを可能にする鑑賞サポートについてお話されました。神奈川芸術文化財団では「文化施設があらゆる人々へ開かれた場となること」「文化芸術を通じた地域との連携の強化」の実現に向けて 4 月に社会連携ポータル課が設置されたそうです。芸術の秋を迎える季節に思いがけない啓発の機会をいただき新たな理解者の広がりを感じました。後日、配信されるそうです。 (座間キャラバン隊 敷島 文)

「中学の総合学習で知的障害の方について話してほしい」という依頼を県育成会から受けて今回は一人で 7 月 6 日藤沢市にある「私立湘南学園」へ行きました。総合学習で「身体障害、視覚障害、聴覚障害、知的障害、LGBT の当事者に話を聞く」という分科会形式の内容でした。生徒の皆さんはそれぞれ自分で選んで、「知的障害」の分科会には 25 人位来てくれました。事前学習で「重度障害の方の入所施設で介助、ケアを受けている様子のビデオ」を視聴されていたとのことでした。知的障害の方でも学校に通ったり、通所施設に通って仕事したり、会社に就職したり、スポーツを楽しんだり、趣味も楽しんでいたりということに「あれ？想像していた知的障害の人たちとは違うな？」という感想をもたれていました。日常的に知的障害と関わる機会が少ないんだなと思い、新たな発見でした。 (座間キャラバン隊 福村 幸江)

事務局が移転しました⇒⇒⇒

「来年 8 月には新会館に移転します」昨年そう聞いた時には引越しの荷造りと住所変更をすれば良いと思っていましたが、現実には 10 年前のインターネットの契約者探しから始まりました。電話で問い合わせしても非情な音声ガイダンスの音が、「契約者の生年月日を入力してください」と流れます。様々な準備を終え、引っ越し業者が決まったのは引っ越し日まで 2 週間を切っていました。今は白を基調とした明るい事務所に移転し、休み明けに水道から赤さびが出てくることも、地震による倒壊の心配もなくなり安心してお仕事が出来そうです。片付けは色々ありますが、時間のある時に、とりあえず詰め込んだキャビネットの整理を少しずつやっていきたいと思っています。（事務局 角田 由美）



Q&A

Q. 入会の手続きは？
A. お住まいの市町村の手続き窓口で育成会から下付の申請書に必要事項を記入し、お住まいの市町村に提出してください。

Q. 会費はいくらですか？
A. 会費は年齢によって異なりますが、有資格者2000円から5000円以内の範囲で、年齢に合わせた金額を徴収します。有資格者も年齢に応じて会費が異なります。

Q. 行事への参加費や申込みは？
A. 参加費は行事によって異なります。申込みは行事の案内書に記載のとおりです。

Q. 入会後の連絡先は？
A. 育成会本部は〒221-0825 横浜市神奈川区沢渡4-2 育成会本部 電話：045-324-1100 FAX：045-324-0426

会員

● 知的障がい児・者
● その保護者・家族
● 近隣者

● 全国手をつなぐ育成会連合会
● 神奈川県手をつなぐ育成会
● 各市町村手をつなぐ育成会

● 1日1日組織編成

● 活動内容と入会のご案内
● 手をつなぐ育成会
● 活動内容と入会のご案内
● 手をつなぐ育成会
● 活動内容と入会のご案内
● 手をつなぐ育成会

ひとりで悩まないで

知的障がいの児童がいて
がんだら悩んでいませんか？
親子になる必要がない
わかりあえる仲間がいない
得意にならないうえに……

そんなあなたにぜひ
読んでいただきたいウェブです

● 活動内容と入会のご案内
● 手をつなぐ育成会
● 活動内容と入会のご案内
● 手をつなぐ育成会
● 活動内容と入会のご案内
● 手をつなぐ育成会

表面

● 活動内容
● 活動の目的
● 活動の意義
● 活動の意義

中面

● 活動内容
● 活動の目的
● 活動の意義
● 活動の意義

育成会“新リーフレット”

このたび会員有志による編集チームを結成、「対面」「オンライン」「メール」でのやり取りで活発な議論を重ねながら、新しい県育成会のリーフレットを作成いたしました。今までにない画期的なデザインと中身の濃い内容になっています。今回このリーフレットの作成にあたっては、イラストレーターの中尾祐次氏（はだのいんくる支部）に全面的にご協力をいただきました。リーフレットは関係諸機関に設置し、多くの方の目に留まり、手に取っていただけることを期待しております。

～中尾氏からのメッセージ～

「悩んでいる方にとって、入会したらどんなメリットがあるのか」が具体的にわかりやすく、育成会のホームページにアクセスしやすいリーフレットを目指しました。スタッフの皆様のおかげで想定以上の物ができ感謝に堪えません。」

編集後記

スペースが足りない！伝えたいことがあふれていて編集担当には嬉しい悲鳴となった今号でした。コロナ禍でも確実に前を向き、むしろ以前より活動量が増えてきている私たち「手をつなぐ育成会」。その活動を通していくつもの新しい出会いがありました。これからも一人でも多くの仲間が増えて、一緒に楽しく活動が続けられるよう願っています。（編集委員 中川 孝子）

知的障がい児者・自閉症児者の
家族の安心を支えます

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

■ 担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL：03-5321-3373 FAX：03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

東京第二プロチャネル営業部

〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階

TEL：03-6894-9110

受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

主な補償内容

病気でケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険保険特約セット

保険のお問合せはこちら

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

神奈川県社会福祉会館内

TEL：045-314-7716 FAX：045-324-0426

http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2020年12月現在の内容です。(D-004960 2022-03)

※毎月1日付で加入できます。2021年度もよろしくお願いいたします。